

原子力を考える討論会を行います。

「原子力の将来と原子力機構の役割を考える」

日時：10月31日(水) 18:30から20:30 ごろまで

場所：白方コミュニティーセンター会議室A

★組合員、組合以外の職員、原研や機構のOB、その他

このテーマに関心がある方はどなたでも参加できます。

給与の大幅削減問題などで、中断していましたが、原子力を考える活動を再開します。労組の第63期からの活動では、これまで3回の討論会を行いました。今回も自由討論ですが、主なテーマを「原子力の将来と原子力機構の役割を考える」にします。

国レベルでは、原子力規制委員会が発足しました。規制委員会の人事を巡っては、政界、産業界、脱原発を目指す人々などから（趣旨は違いますが）の反対の声があがりました。これまでの歴史をみると、発足した規制委員会が、国の原子力に対する基本姿勢とは全く独立に、安全だけを考えて仕事をする事ができるとは考えられません。規制委員会人事も重要かもしれませんが、それ以前に原子力に対して、どのような種類の安全、どのくらい以下の危険水準にすべきかを考える議論は、ほとんど見られません。「原発をすべてなくして欲しい」という世論は大きく、その方向だけであれば、考え方としては簡単ですが、エネルギー利用を模索するのであれば、原子力の安全を考える上での基本姿勢のようなもの考える必要があります。そのようなことを議論し、考える機会にしたいと思います。

これまでの議論に参加していない方もためらわずにご参加ください。これまでの討論会の内容は、2回分をあゆみ速報で、報告していますが、手元にない方のために、近々、労組ホームページに、あゆみ速報とは別にまとめて掲載します。新たに討論に加わる方は参考にしてください。また、討論会当日に印刷物としてお配りします。

独立行政法人通則法一部「改正」法案の廃案を求める 請願署名をお願いします。

組合員のみなさんは、職場の非組合員、家族、知人などにも声をかけください。

第1次締め切り：10月25日(木) 第2次締め切り：10月31日(水)

ベトナム労働総連合 (VGCL)

東海村、原科研を訪問の予定(10月19日)

ベトナム労働総連合は、傘下に約770万人の労働者を持つベトナムのナショナルセンターです。我が国の全労連と交流があり、今回その役員数名が来日します。そのなかで、一部の日程をさき、原研労組と原子力問題に関する取組などについて懇談してはどうかという提案が全労連からありました。東海村に来ていただけるということなので、東海第2原発展示館の見学、原子力科学研究所の見学をかねて来ていただくことになったものです。いずれかの職場にお邪魔することになるかと思いますが、よろしくお祈りします。

原研労組の研究問題関係資料に関して ＜デジタル化作業進行中＞

原研労組は、仕事の問題について、シンポジウム活動などを行ってきました。その資料集などが、組合事務所に眠っています。雑多に積まれているだけに近く、探し出すのが大変で、すぐに利用できないものも多いです。最近過去の資料に関する問い合わせがあり、それを機会に、少しずつ利用しやすくしていこうということにしました。

資料集などをスキャナーにかけ、デジタル化し、pdfファイルにしていきます。デジタル化すれば、所有部数が少なく、そのものを提供することができない資料もデータとして提供できるようになります。データの公開方法の具体化はこれからです。提案などがありましたら、執行部にお話してください。

なお、現存の紙の資料のうち部数が多くに残っているものは、

組合員以外でも無料で(送料は別)提供します。 ****

すでにデジタル化済みの資料：

原研労組15年史(1972年6月)、

原研労組25年史(1982年6月)、

原研労組35年史(1993年8月)

軽水型発電炉をめぐる諸問題(1973年3月)

シンポジウム報告集「なぜ続く事故失敗」(2001年1月)